



それぞれの一生

施設長 松島栄一

人の生き方はそれぞれであり、こうあらなくてはいけないというものはないのだと思いますし誰もがそういうと思うのです。しかし現実では、社会で生きるという以上、ある程度の決まり事や制約、逆に理想とされる一生みたいな像も作られてくるのも事実です。今の社会で生きることと、例えば平清盛の生きた時代では、当然生き方、制約、求めるものも違っているわけですが、でもこう生きたいというものは常にあり、それが次の時代を作り、今につながっているのでしょうか。

一人の障害者と呼ばれる青年(この障害という決めごととも社会があって初めて生まれる概念かな)が、障害者施設に入所する、しないで揺れています。明らかに彼の力で思い描いていた生き方とは違い、彼としては戸惑うばかりで、受け入れがたい部分があるのも現実です。理想ばかり追えるわけではないという言葉は常にあります。その壁みたいなことが今の社会に生きる以上仕方ないのだとしたら、そのことをそのまま受け入れるのではなくて、せめて次はどうしたいのかだけでも彼と一緒に考えたいものです。彼の思いが次へつながることなくしては、彼が生きた証みたいなものが消えてしまいそうでやりきれません。

1月・2月の予定

1月24日(火) 外出日

2月11日(土); 建国記念日(休業日) ※13日(月)は営業いたします。

2月23日(木)~26日(日); 茂原アスモ・「生き生き展」開催!

「けやき」は製品を委託販売の形で参加いたします。

※今年も茂原アスモ展のご協力で開催されます。是非お越し下さい。

お知らせ 春季休業期間(予定)について

3月28日(水)~4月2日(月)は春季休業期間となる見込みです。年間予定表とは若干、異なりますが、よろしくお願いいたします。

ご報告 前号で呼びかけをさせていただいた「障害福祉についての新たな法制に関する請願書」署名は、けやきで取りまとめた分を「きょうされん」本部へ発送いたしました。また、集まった募金(総額7000円)も指定口座の方へ入金いたしましたので、御報告いたします。ご協力ありがとうございます。これで「けやき」でのとりまとめを一旦終了いたします。

なお、今回の署名運動そのものは今年度一杯、継続して行われていますので、追加分などありましたら「けやき」に持ってきていただいても構いません。

～1月「けやき」ミニ・ギャラリー①～

<12月22日(木) クリスマス会>



ホッホッホッ!



サンタAと記念写真



サンタBに何やらお願いをしている様子



サンタCに着替えを手伝ってもらったサンタDが、いざ、登場!



サンタEもいました!

報告<けやきの施設整備に関して>

新年早々にお知らせいたしました施設整備の件、既にスプリンクラー工事は施工中です。スプリンクラー工事は「けやき・光」のみですが、幸い、施行業者さんのご協力ですべての休業日や平日の活動時間外に工事に入ってもらう形となり、活動そのものにはほとんど影響がない状態です。

また、「けやき」のスペースが全体的に手狭になってきていることに加え、「けやき・風」の設備老朽化もあり、そういった当座の課題改善のために、増改築による方法を検討しているところです。(なお、今回の施設整備が実現しても利用定員は現状維持となります。)こちらの方はまだ、検討中というところです。こちらの方も、決まり次第、あらためて報告させていただきます。

お便りが届いて、じわじわと嬉しい

西 希仁

「けやき」がお世話になっている方の一人に旭市の夢屋診療所歯科の鈴木真子先生がいます。鈴木先生は摂食指導に来てくださる歯科医です。同じ法人内の「幼児教室」がとてもお世話になっており、「けやき」の仲間もしばしばそこに入って診てもらっているのです。

実はその鈴木真子先生から、新年早々、「九十九祭でいただいた『けやき』のハガキ『わらって』で昨年辛い思いをしていた人を慰めることが出来ました」とのお便りをいただいたのでした。

この「わらって」は、けやきの仲間が描く作品をポストカードのシリーズのうちの、絵ではなく、字を描くことを得意とする仲間の作品の一つです。そのポストカードが、なんと私たちが存じ上げない方を鈴木先生が慰めるきっかけになった、というお手紙を拝読して嬉しくなり、その後もじわじわと嬉しくなりました。そして思わず次のようなお礼の返事を書きました。

.....

早速、明日、「わらって」を描いた本人に伝えます。当の本人はこのところいろいろあって、戸惑いや不安の多い日々の中にいます。でも、このことを伝えたら、きっとその場をぴよんぴよんと跳びはねて喜ぶに違いありません。正直、話の細かいところはあまり理解できないかもしれませんが、それでも満足そうに穏やかにぴよんぴよんと跳びはねて喜ぶように思います。

「人は群れで生きるもの」と施設長の松島が時々申しますが、本当につながって生きている。いいこともあって、悪いこともあって、だからつながっているし、この先もつながっていく。

けやきの仲間が絵を描くささやかな喜び。その喜びが、鈴木先生のような方々を通じて、さらに顔も知らない第三者にまで行き来する。その中で生まれるいろんな感情。もちろん、そこにも悲しいこともあれば、喜びもある。そういったつながりがあることが、けやきの仲間がこの社会の一員であるという誇りにつながる。お互いの居場所がある、お互いの存在を認め合える。そんな社会は「皆がうれしい」。

もっとも現実はそのとはいかない。理想通りなんてこれっぽっちも行かない。皆がそれぞれの事情の中で、それぞれがもがきながら生きている世の中で、「皆がうれしい」だなんて当然、不可能に近いことです。そのことは「けやき」の日々の現場でも痛いほどに感じています。

「皆がうれしい」社会。それを目指すことは非常に難しいし、苦しい。

でも、それこそが、今も、そしてこれからも「けやき」が目指すもの。

鈴木先生からのお便りを拝見する中で、そんなことを感じさせていただきました。

今後とも私ども「けやき」とよろしくお付き合い下さいますようお願い申し上げます。

取り急ぎ、お礼まで。ありがとうございました！

.....

...そんな風に返事を書きながら、そこでまた「けやき」にとって大切なことが整理され、スルメのように、昆布のようにじわじわと美味しい、いや嬉しい出来事でした。

～1月「けやき」ミニ・ギャラリー②～

<12月22日(木) クリスマス会つづき…>



あれ?あんなに一杯いたサンタは、どこへ行ったんだ?

あっ!

<ある日の「けやき・光」…>



鏡台に向かって「今日の髪型は大丈夫かな…」

まず横になって… ストレッチ!

お願い 「けやき」の活動の様子画像を今年度も「木洩れ日」や「生き生き展用のポスター」「けやきホームページ」などに掲載したいと思います。掲載を希望しない利用者・保護者の方は、お手数ですが「けやき」(担当;西)までご連絡下さい。

編集後記 ▼新年明けました。今年もよろしくお願いいたします。▼2月23日(木)～26日(日)に今年も「生き生き展」が開かれます。今年も「けやき」は展示と委託販売の形で参加させていただく予定です。そこで先日の職員会議では「今度の生き生き展ではけやきとして何を伝えたいのか?」という話になりました。▼「けやき」開設当初の「まだ定員に空きがあって地域に存在をアピールしなくては…」という時期は既に過ぎ、むしろ新たに利用したいという希望があるたびに申し訳ない返事をしている状況です。▼あらためて「けやき」がこの地域で何を目標しているのかを意識せざるを得ない話でしたが、職員からは出てきた意見は「メッセージを打ち出そう!」「行政への主張をしよう!」「けやきとつながれる人を探そう!」。なんとも面白いものでした。▼開設して5年目。さすがに設備も現状では厳しくなって整備計画を進めているような現状です。仲間の顔ぶれや活動内容は落ち着いてきています。職員間の仕事も「新しく生み出すこと」から「継続していくこと」の比重が大きくなっています。そんな「けやき」での職員会議で今回、一人ひとりの意見は、なかなかワクワクするものでした。もちろん、これらをどんな形で実現できるか、が勝負ではありますが…(汗)。▼「けやき」の歩みは、ともすると日々「内向き」で精一杯になってしまいがち。でも日々の雑事に対してですら「外向き」の視点も同時にもって営む。それが、視野を広げるばかりでなく、「けやき」の内側に緊張感やワクワクする刺激を生み出す!そうそう、同じようなことを、今号3頁の鈴木先生とのやり取りからも感じています。(毎日のいろんな風を帆を上手に操って進むヨット乗りにもちょっと憧れている西)